

地域横断的に見る劇場上演の変遷 データベースの利活用から (第2回)

科研費研究「ヨーロッパ音楽劇上演の変遷と伝播：言語と地域の横断的研究」成果公開出版のための内容検討会を、公開ミニシンポジウムの形で開催します。ご参加をお待ちしています。

日時：2024年5月18日(土) 13:00-15:30

場所：オンライン (ZOOM)

発表：坂部 裕美子 ((公財)統計情報研究開発センター)

辻 昌宏 (明治大学)

神竹 喜重子 (一橋大学)

平野 恵美子 (大阪大学)

コメント：大河内 文恵 (東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校)

小石 かつら (関西学院大学)

荒又 雄介 (大東文化大学)

司会：岡本 佳子 (神戸大学)

申込：オンライン申し込み専用フォーム

<https://bit.ly/3JSdV7E>

※右のQRコードからもお申し込み可能です。

お申し込みが承認された後、Zoomにアクセスするための情報をご送付いたします。



発表タイトル

坂部裕美子 『公演データベース』の存在意義

辻 昌宏 上演を記録しようとする意志の長い不在——シエナ初のオペラ
上演を中心に

神竹喜重子 私立マーモントフ歌劇場におけるオペラ上演のデータ分析

平野恵美子 19世紀末から20世紀初頭のロシアにおけるヴァーグナー・
オペラの受容について